

第132震洋隊「震洋特攻艇格納壕」周辺の 清掃活動を実施する！

2月14日(火)午後より、土佐清水市越湾南面・西牧山北麓に所在する第132震洋隊の震洋特攻艇格納壕周辺の清掃活動を土佐清水市郷土史同好会・土佐清水市文化財保護審議会・土佐清水市教育委員会が共催で実施しました。

昨年6月議会で弘田条市議から格納壕についての議会質問を受け、岡崎教育長が「周辺に長年蓄積されたゴミが多く、年度内にボランティアを募り、清掃活動を行いたい」との議会答弁を行いました。今回の清掃活動は、これを実現したものです。まだまだ活動の規模が小さく、不十分な点もありますが、これをきっかけとして、活動を市民に周知し、広げていきたいと思えます。

当日は、わざわざ高知市から市史編集委員会の出原恵三編集委員（考古及び戦争遺跡担当）と大原純一調査執筆協力員（戦争遺跡担当）にもご参加いただきました。また、高知新聞清水支局・小笠原舞香支局長にこれを取材いただきました。



↑ 岡崎教育長の開始式のあいさつ



↑ 作業の様子



↑ 高知市から大原純一市史調査協力員とともに、わざわざ参加いただいた出原恵三市史編集委員（左写真）。今回の清掃活動で集められたゴミ（右写真）。



◎今回の清掃活動の参加者

◇土佐清水市郷土史同好会

武藤清（会長・文化財保護審議員）、山下晃弘（副会長）、田中嘉一（理事）、
切詰博幸（理事）、満木多喜子（会計監査）、西村光一郎、弘田 条

◇土佐清水市文化財保護審議会

東近 伸（会長）

◇市史編集委員会

出原恵三（市史編集委員）、大原純一（市史調査協力員）

◇教育委員会

岡崎哲也（教育長）、西原貴樹（生涯学習課長）、池内正樹（生涯学習課長補佐）、
田村公利（市史編さん室長）、由岐直久（市史編さん係長）、
吉本工心（市史編さん室職員）以上、16名の参加。

◎市史普及啓発活動及び関連行事や活動

- ・ 2月16日（木）～19日（日）9:00～17:00（19日のみ15:00まで）

「令和5年土佐清水市中央公民館サークル文化展」・・・中央公民館3階多目的室
〈主催〉土佐清水市中央公民館

- ・ 2月20日（月）3～4校時 「幡陽小学校社会科授業」 民具について

- ・ 2月28日（火）5～6校時 「足摺岬小学校社会科授業&総合学習」

民具と2001年高知県西南豪雨災害について

- ・ 3月3日（金）14:00～16:00・・・中央公民館2階・会議室

「第2回土佐清水市史編さん・編集合同委員会」

- ・ 3月4日（土）13:30～16:00・・・市民図書館2階・視聴覚室

「図書館&土佐清水市郷土史同好会共催『拓本づくりワークショップ』」

講師：愛媛県伊方町文化財保護審議会会長・黒川義信氏

※要申し込み 500円（紙代） 新聞紙 汚れてもよいタオル

- ・ 3月5日（日）9:00～14:45 市野々、長野、大岐の遍路道

「令和4年度・地域スポーツハブ展開事業遍路道ウォーク」

- ・ 3月18日（土）9:00～12:30 足摺岬地区通称「天狗山」尾根筋

「中央公民館歴史講座（フィールドワーク）」

【編集後記】

今日は、「土佐清水市郷土史同好会」「土佐清水市文化財保護審議会」「土佐清水市教育委員会」が協働で第132震洋隊特攻艇・格納壕周辺の清掃活動を実施しました。この壕は、昭和20年5月初旬から約1か月足らずで基地隊員約70名余りによって掘られた「特攻艇を格納するための壕」です。

出原恵三市史編集委員の調査によると、現在13個の壕が確認されています。このようにしっかりと形が残存する壕は、全国的にもめずらしく、貴重な戦争遺跡であることが調査より明らかとなりました。

昨年本市の6月議会でも、本日参加された弘田条市議からこの基地についての議会質問を受けました。その際に、ボランティアを募って「ゴミの除去」と「環境整備」を行うことを教育長答弁にて約束しておりました。今日の清掃活動は、その約束を実行するための取り組みでした。

また、『新土佐清水市史』第7章戦争遺跡を執筆された出原恵三編集委員と、大原純一調査協力員もわざわざ高知市からこのためにご参加いただきました。文化財を守り抜こうとするお一人お一人の思いがいつか燎原の炎のように広がり、結実しますように。今日から「公民館サークル文化展」が始まります。土佐清水市郷土史同好会の企画展示（2月16～19日）をご覧ください。（田村）